

第 15 回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成 15 年 6 月 17 日（火）PM2：00～PM3：15

場 所 丹後町役場

出席者数 19 人（欠席 1 人）

傍聴者数 3 人

主な議題

（1）協議第 1 号 新市建設計画について

（2）次回の議題について

（3）次回の小委員会の日程等

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議題

（1）協議第 1 号 新市建設計画について・・・継続協議

主な意見

京都府 新市における京都府事業としては、国の支援プランを積極的に活用するとともに、新市の一体性の確立と 6 町の基盤整備水準の均一化の事業については積極的に推進していくこととする。

町 長 京都府の支援事業の中で、地域内ネットワークとして道路ばかりがあがっているが情報のネットワーク化もやっていただきたい。また、京都縦貫道路や交通安全対策についても記載していただきたい。

京都府 情報化の支援としては、地域情報化推進事業として記載しているが。京都縦貫自動車道の丹波、綾部間については、この 6 町の合併支援地域外ということであるが、持ち帰り検討したい。交通安全対策では、歩道の整備は、国・府道整備の中に込めている。京都府の支援事業については、新市建設計画の施策の体系にあわせ、合併支援策として国の推進債などを活用できるものという切り口で記載している。

委 員 各地域の要望事項は、地域振興協議会で検討されるのか。

委員長 支所に住民生活に関連した課は設置するので、ちょっとした道路の手直しなどの小さな要望は区を通じるなりして支所へ、また振興協議会にはもっと旧町地域全体に係るような大きなことについて伺いたいと考えている。

委 員 地域バリアフリーとはどういうことか。

事務局 老人や子どもが移動しやすい環境づくりを考えている。

委 員 財政計画で、平成 16 年から人件費の削減が見込んであるのか。

- 事務局 特別職と議員報酬で単年度約4億が削減でき、それを反映している。その他の人件費の努力目標は10年間で1割の削減としている。
- 委員 普通建設事業費については、9年後、10年後に10億ずつ増えることになっているが、新庁舎建設を見込んでのことか。
- 事務局 合併時には新庁舎の建設をしないことが確認されており、財政計画には反映していないが、建設計画の中で今後やっていかなければならない普通建設事業については、通常起債を当てて行うが、この計画では財政支援の有利な合併特例債を通常債の代わりに当てるよう考えたものである。
- 委員長 合併後、すぐにCATVといった大事業を計画しているため、最初の3年間も事業費が多くなっている。
- 委員 京都府の事業にある3次救急の整備支援とは具体的にどういうものか。
- 京都府 京都府では、3次救急をやっているのは第一赤病院で、与謝の海病院に搬送用のヘリコプター基地があり、その体制を整えるということである。
- 委員 機械金属部門から、人材育成のため職業訓練センターの施設整備といった声があるがどうか。
- 京都府 職業訓練センターや丹後サテライト、また峰山高等学校を使った人材育成について、業界の方と話し合い検討している。
- 委員 新市の組織体制の中で、分散型は非効率的との声があるがどうか。
- 町長 合併の目的の一つは事務の効率化であるが、住民サービスが低下しないよう配慮したり、また庁舎のスペース的にも一極集中はできない。しかし、このままの体制では何のための合併かという声も出てくると考えられ、将来的には市長に委ねられる。
- 委員 地域振興協議会の協議事項の中で、教育委員会などの行政委員会への提言も協議できるようにしたらよいのではないか。
- 事務局 地域振興協議会は住民の方々の声を市長に届け、市長がそれを行政委員会に流すものと考えるが、構成メンバーにPTAの代表といった声もあり、そういったこともあり得ると考える。

(2) 次回の議題について
新市建設計画について

(3) 次回の小委員会の日程等

第16回新市建設計画策定小委員会

日程 平成15年7月3日(木) 午後2時00分より

場所 弥栄町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
(速報のため、事後修正の可能性あり)